
I グラフで見る山梨の森林・林業

1 森林資源の現状

- ◇ 本県の森林面積は34万7千haで県土の78%を占め、国有林5千ha(1%)、県有林15万8千ha(46%)、民有林18万5千ha(53%)から構成されている。
- ◇ 森林資源の構成は、人工林15万3千ha、天然林17万2千ha、その他2万3千ha。森林面積の44%を占める人工林の年齢構成は、Ⅹ年齢以上(46年生以上)が81%であり、伐期に達した森林の占める割合が増加している。

森林面積と森林比率

| 全 国 | | |
|-----------|-----------|-------|
| 総面積 | 森林面積 | 森林比率 |
| 37,297千ha | 25,025千ha | 67.1% |

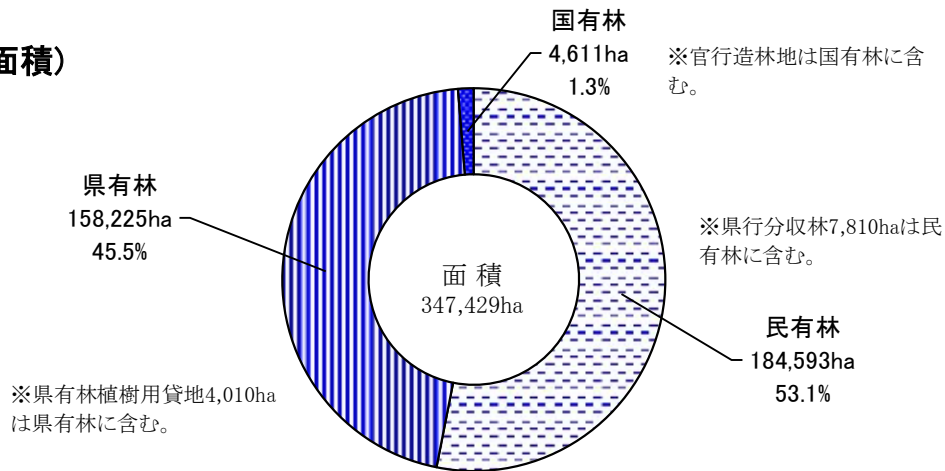
※総面積は、北方領土面積を除いた国土地理院出典全国都道府県市区町村別面積調による (R5.1.1時点)
 ※森林面積は、森林法第2条第1項に規定する森林の数値(2023「森林・林業統計要覧」(林野庁編)による)

| 山 梨 | | |
|------------|------------|-------|
| 総面積 | 森林面積 | 森林比率 |
| 446,527 ha | 347,429 ha | 77.8% |

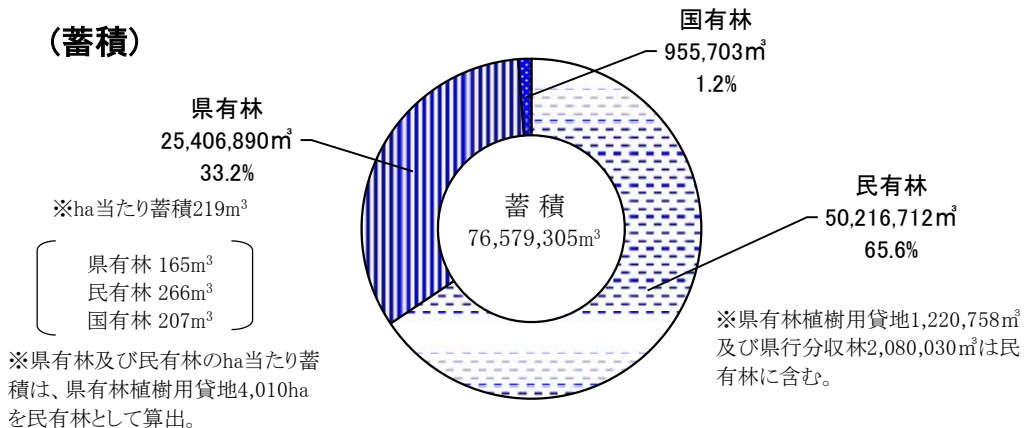
※総面積は、「山梨県統計年鑑」(令和4年度刊行)による
 ※森林面積は、森林法第5条に規定する地域森林計画の対象森林と県内国有林の計 (R5.3.31時点)
 (森林整備課の業務資料及び関東森林管理局の数値による)

所有形態別森林面積と蓄積

(面積)



(蓄積)



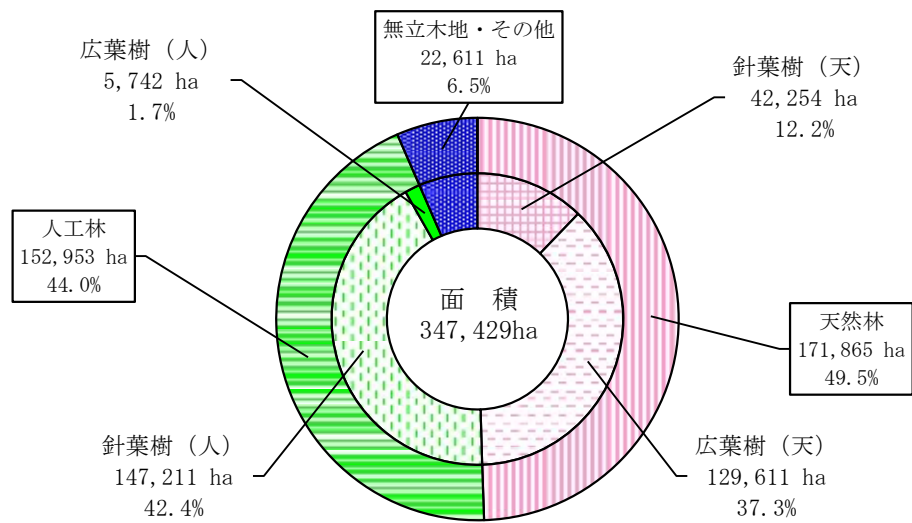
人工林面積と人工林率

| 全 国 | | 山 梨 | |
|------------|-----------|---------|----|
| 10,093 千ha | 人 工 林 面 積 | 152,953 | ha |
| 40.3% | 人 工 林 率 | 44 | % |

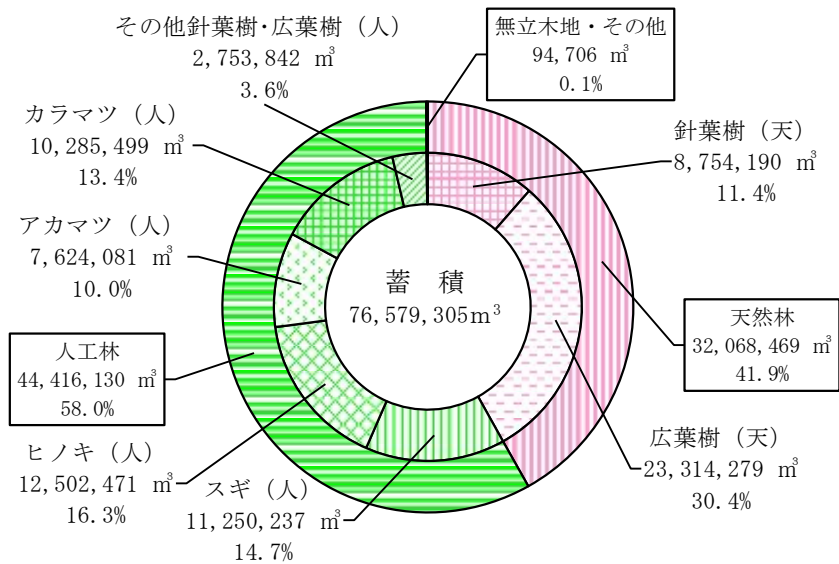
※全国の人工林面積は、2023「森林・林業統計要覧」（林野庁編）
 ※山梨県の人工林面積は、森林整備課の業務資料（国有林については関東森林管理局の数値）

林種別・樹種別面積と蓄積

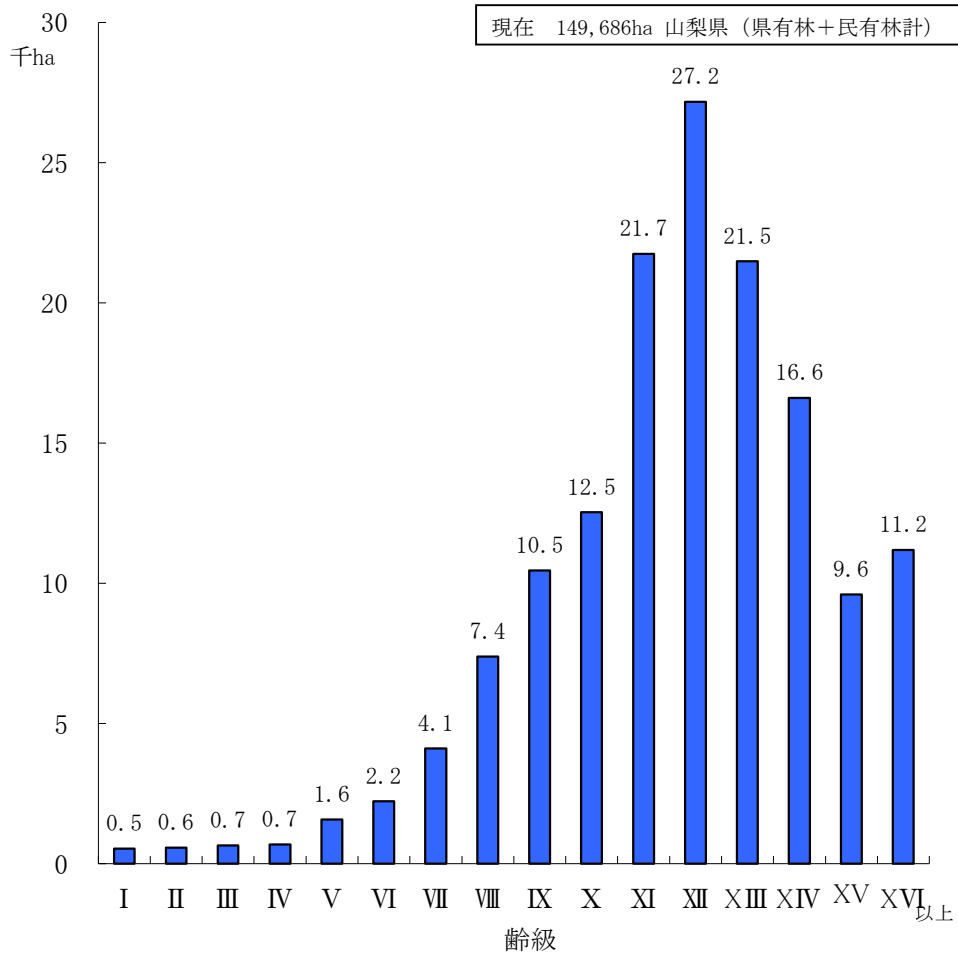
(面積)



(蓄積)



齡級別人工林面積



構成比

| | I | II | III | IV | V | VI | VII | VIII | IX | X | XI | XII | XIII | XIV | XV | XVI以上 |
|-----|---|----|-----|----|---|----|-----|------|----|----|----|-----|------|-----|----|-------|
| 山梨県 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 3 | 5 | 8 | 8 | 15 | 18 | 14 | 11 | 6 | 8 |
| 全国 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | 3 | 6 | 8 | 11 | 15 | 15 | 14 | 9 | 3 | 8% |

構成比(山梨県)

| | |
|-------------------|-----|
| III齡級以下 (15年生以下) | 1% |
| IV～IX齡級 (16～45年生) | 18% |
| X齡級以上 (46年生以上) | 81% |

資料：全国は、2023「森林・林業統計要覧」（林野庁編）

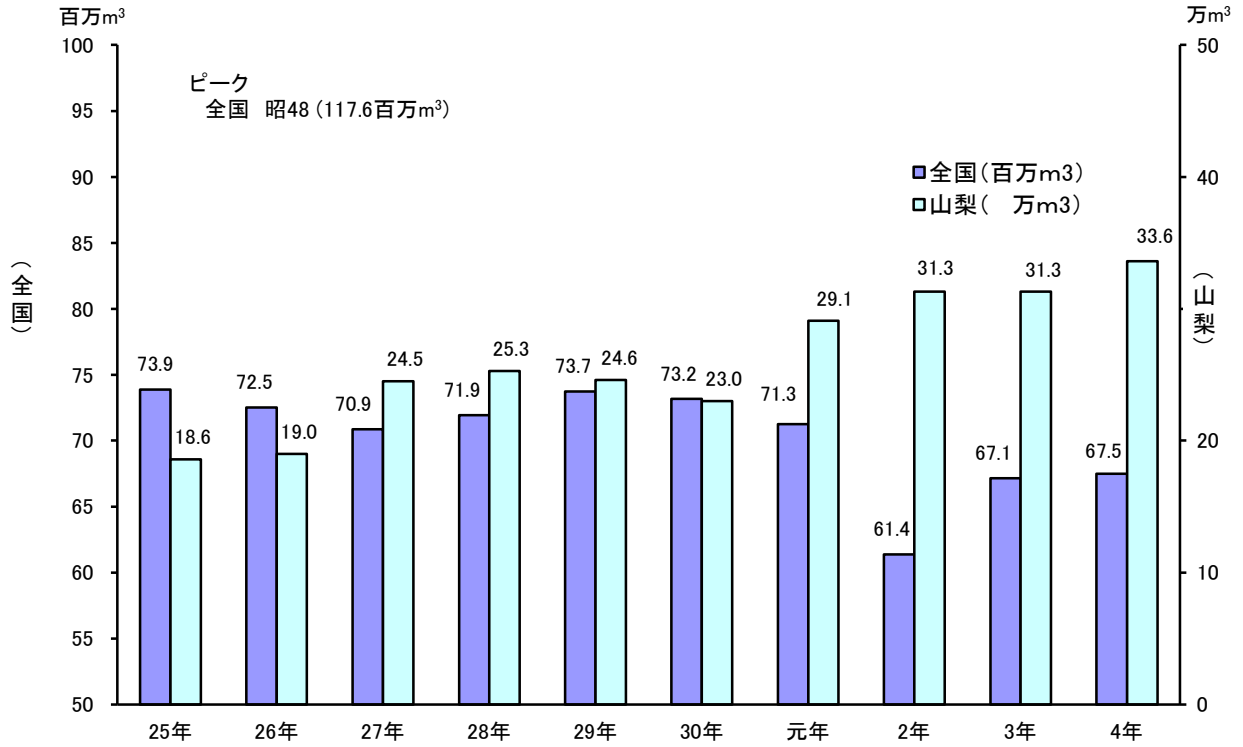
山梨県は、森林整備課の業務資料（国有林除く）

齡級：森林の林齢を5年の幅でくくった単位。人工林は、苗木を植栽した年を1年生とし、1～5年生をI齡級、6～10年生をII齡級と数える。

2 木材需給量と材価

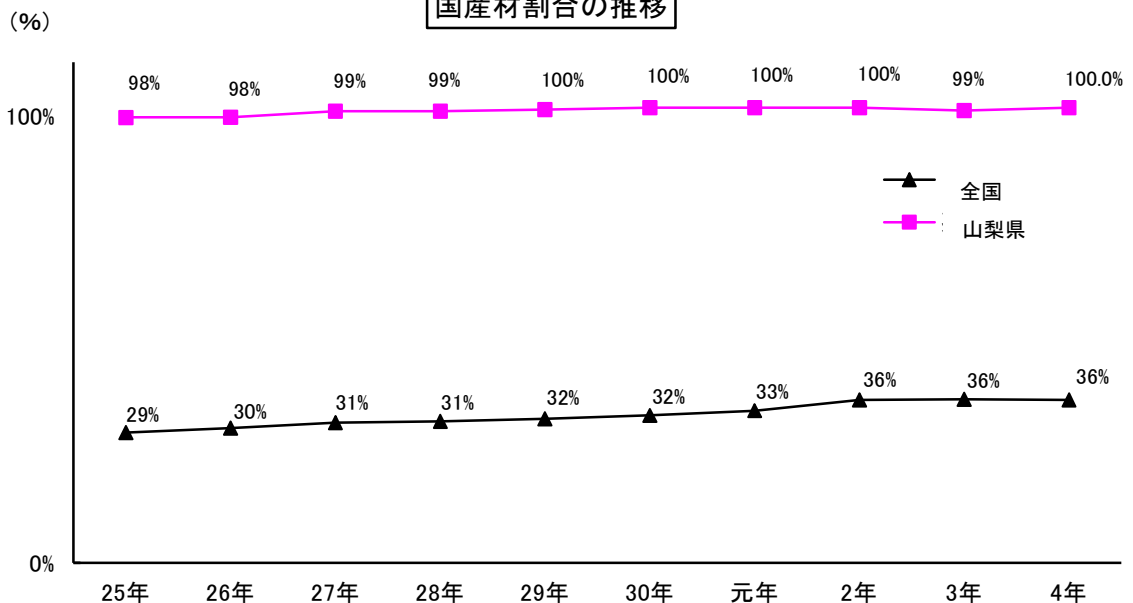
- ◇ 本県の木材（素材）需給量は、増加傾向に転じ、令和4年は336千 m^3 となっている。用途別内訳では、製材、合板が増加傾向にある。
- ◇ 国産丸太価格は平成27年以降は概ね横ばいであったが、令和3年から大幅に上昇している。

用材需要(供給)量の推移



注：需給量には、製材品、木材パルプ、合板、薪炭材等の丸太以外の形態で輸入されたものについて、丸太材積に換算してカウントしている。

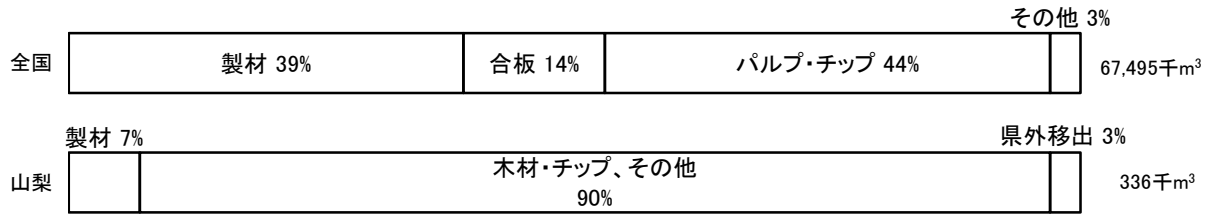
国産材割合の推移



資料：木材需給表(林野庁)
「県製材工場等調査等」(平成27年度～)

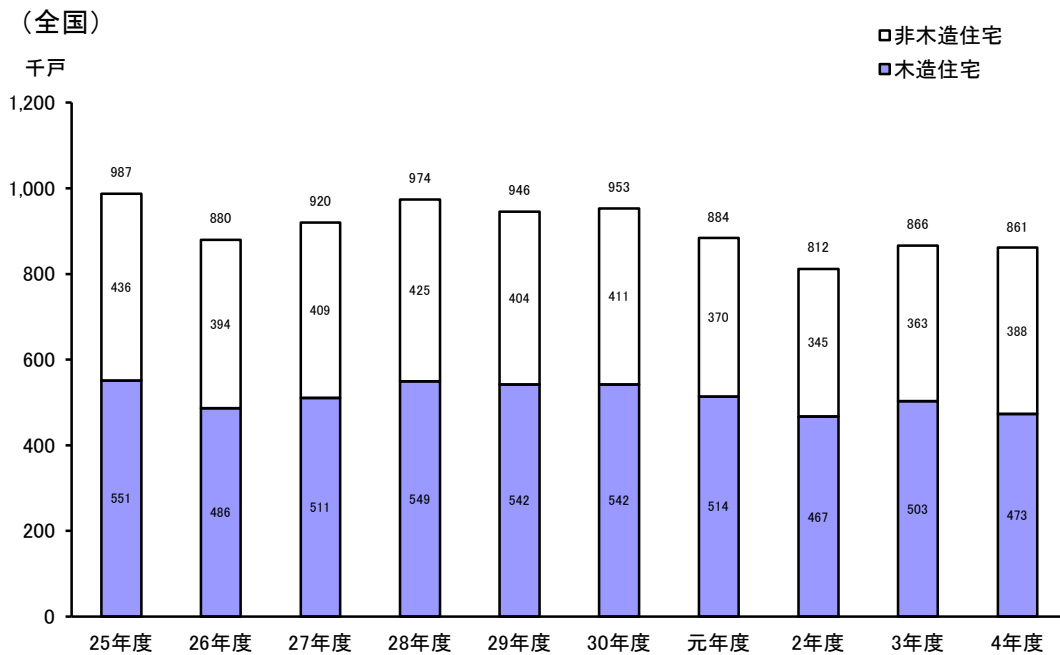
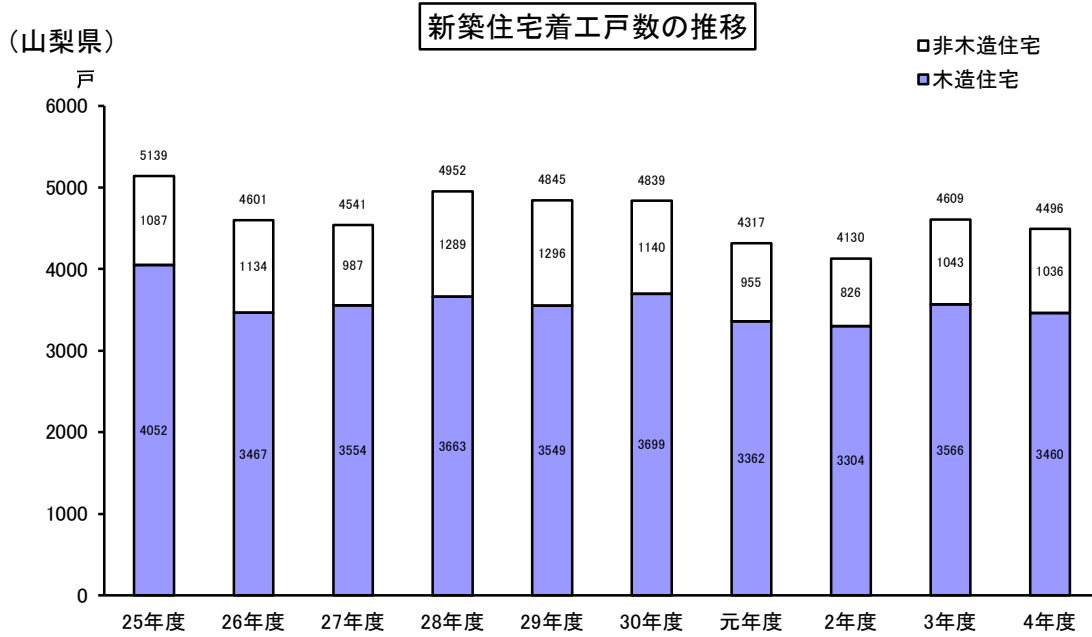
※平成30年度から一部(山梨県を含む)県別の外材輸入量が非公表

用途別需要量の割合 (R4年)



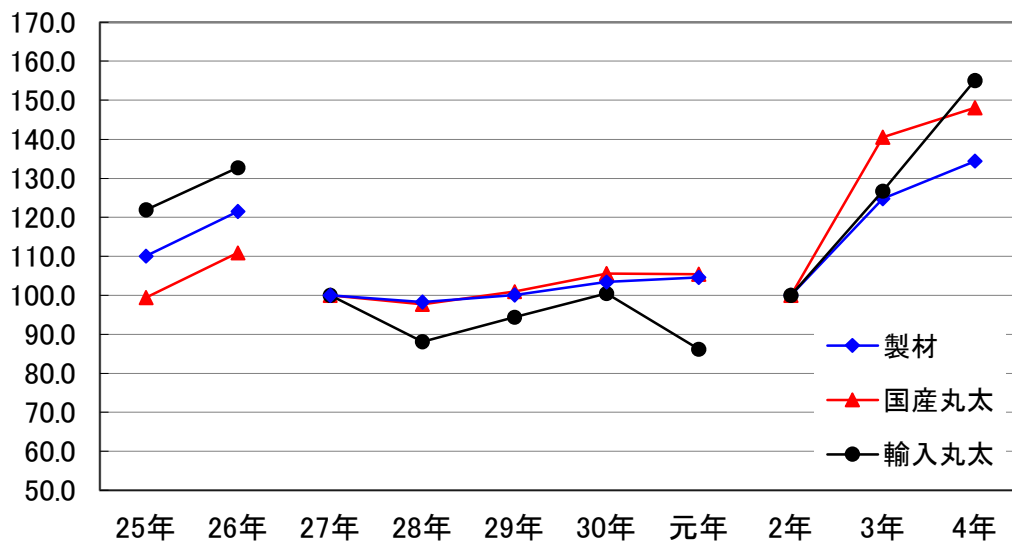
※平成30年度から一部（山梨県を含む）県別の用途別需要量が非公表

資料：木材需給表（林野庁）
県製材工場等調査等



資料：国土交通省 住宅着工統計

木材価格指数の推移 (全国)

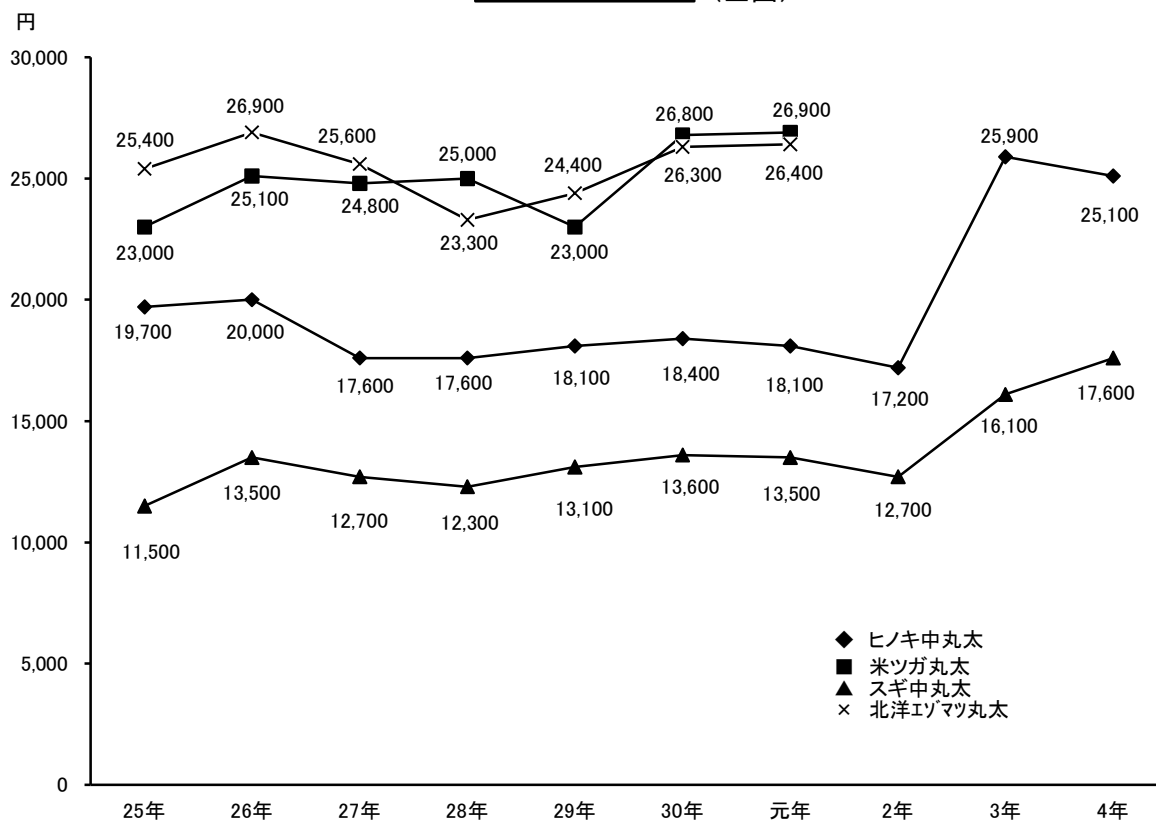


※出典「木材情報」物価指数の推移 (財)日本木材総合情報センター

※出典元の国内企業物価指数、輸入企業物価指数は、H22、H27、R2を100として算出

丸太価格の推移 (全国)

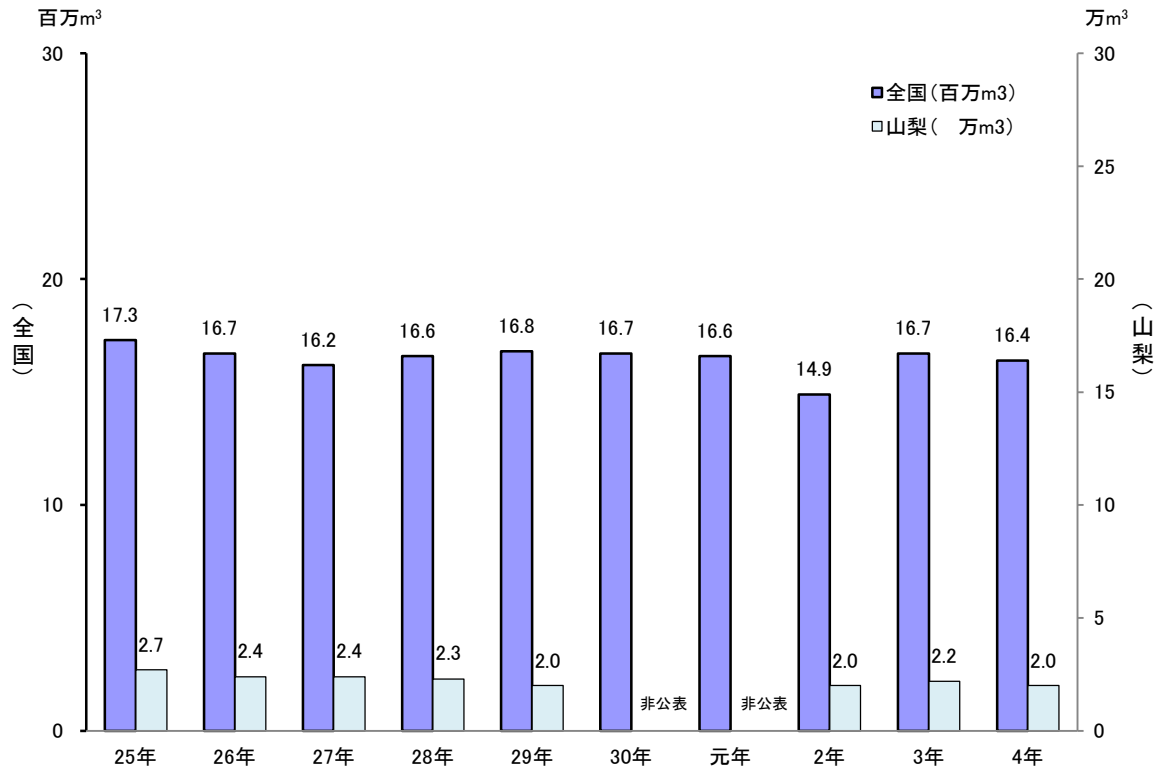
(m³当たり)



資料:「木材情報」製材用素材価格(財)日本木材総合情報センター

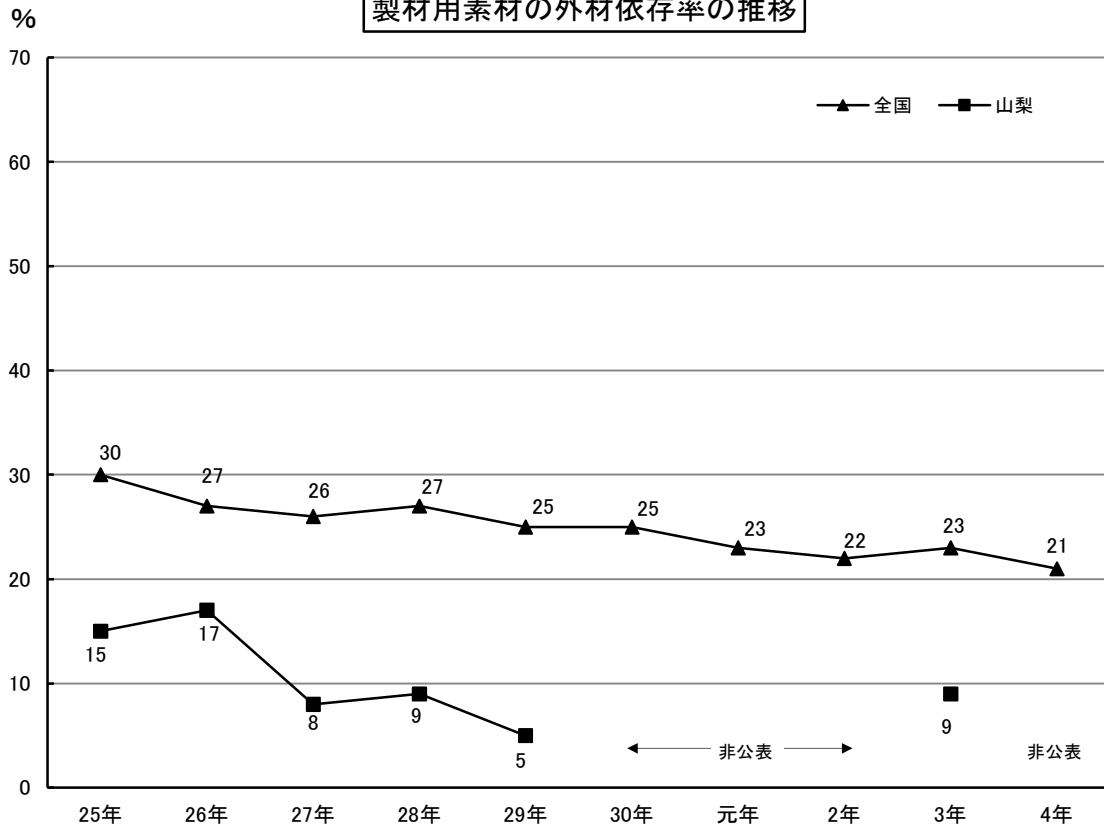
※令和2年から一部未公表

製材用素材の入荷量の推移



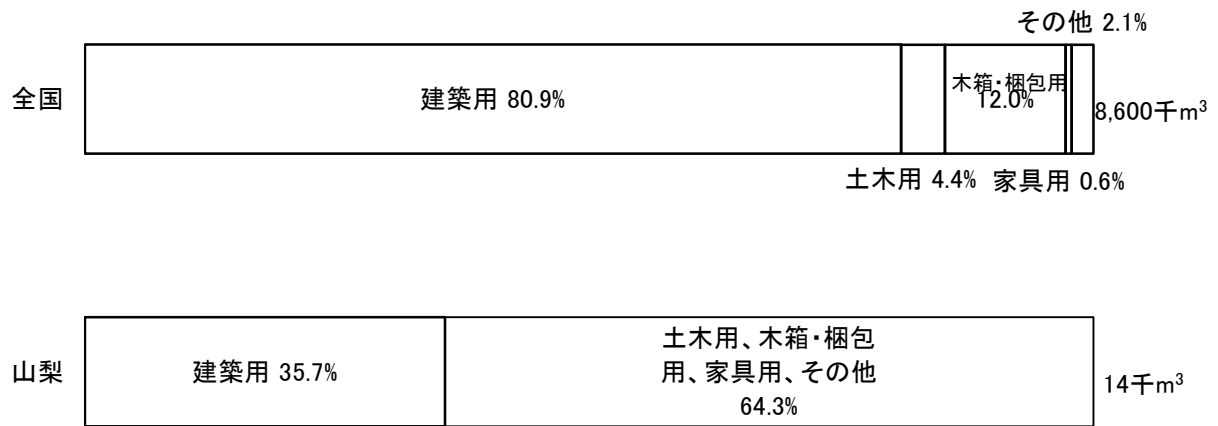
※平成30年度から一部（山梨県を含む）県別の製材用素材の入荷量が非公表
 出典:木材統計(農林水産省) 素材需給 材種別素材需要量 イ製材用

製材用素材の外材依存率の推移



※平成30年度から一部（山梨県を含む）県別の外材輸入量が非公表
 出典:木材統計(農林水産省) 素材需給 材種別素材需要量 イ製材用

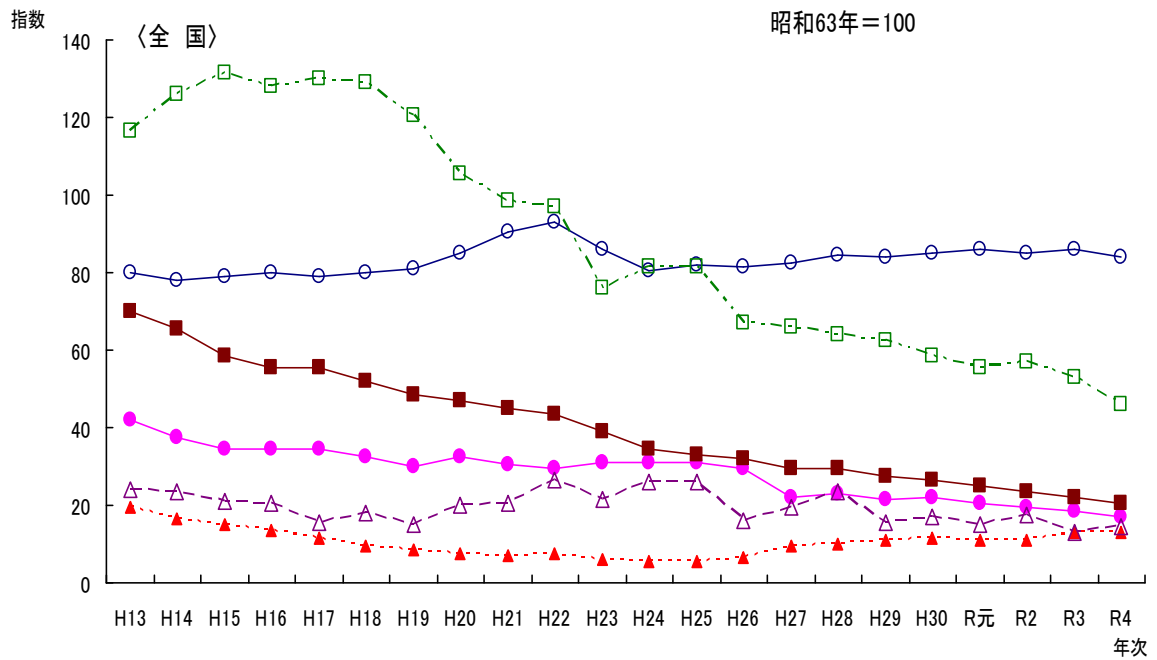
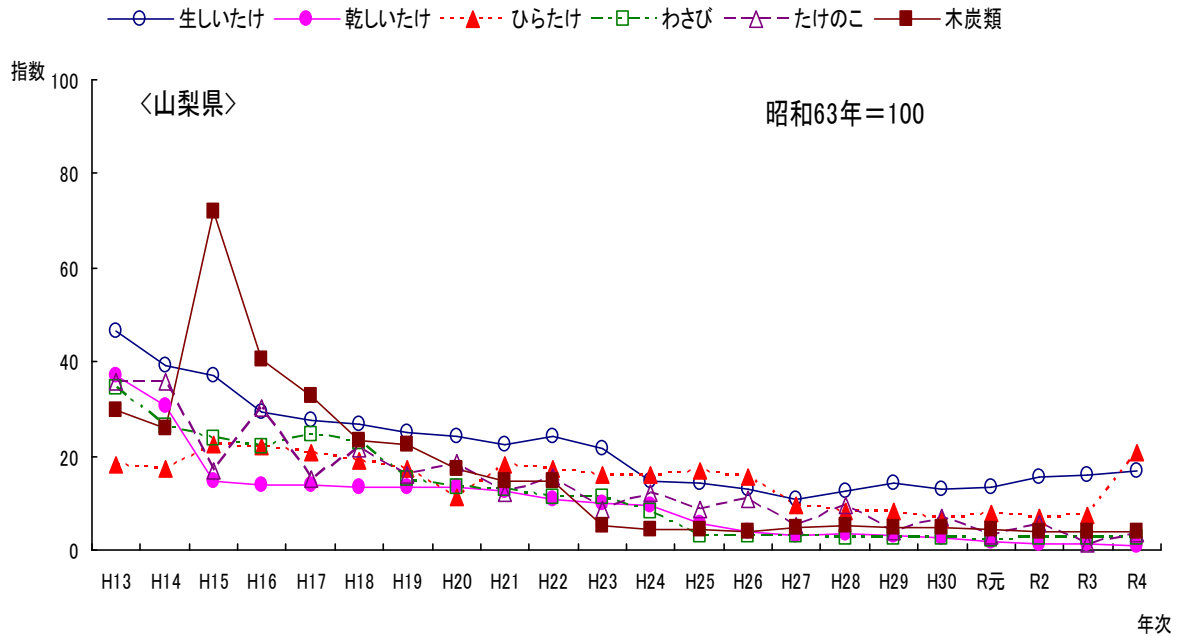
製材品の用途別出荷量の割合 (R4年)



出典:木材統計(農林水産省) 素材需給 材種別素材需要量 イ製材用

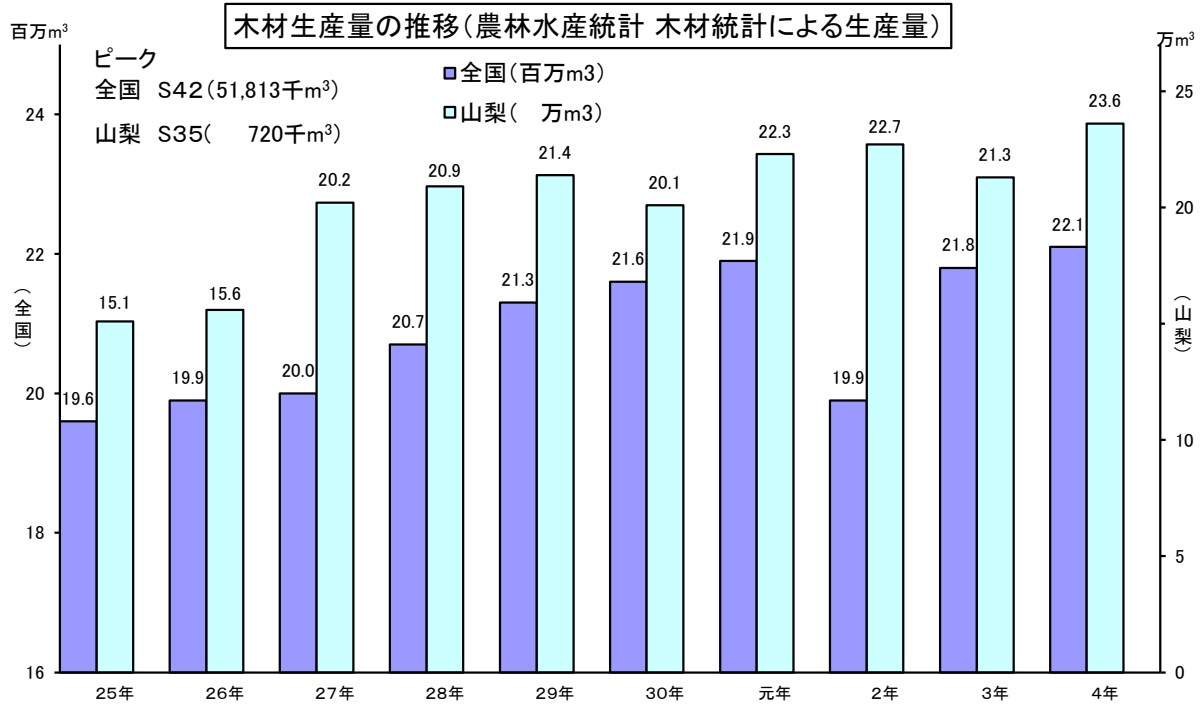
3 主な特用林産物の生産量（指数）の推移

- ◇ 特用林産物は、農林家の短期収入源として重要な地位を占めているが、生産量は生産者の高齢化、安価な輸入品の増加などの影響を受け減少傾向にある。
- ◇ 令和4年次は、本県ではひらたけ・たけのこが増加し、全国では生・乾しいたけが減少、たけのこが増加している。

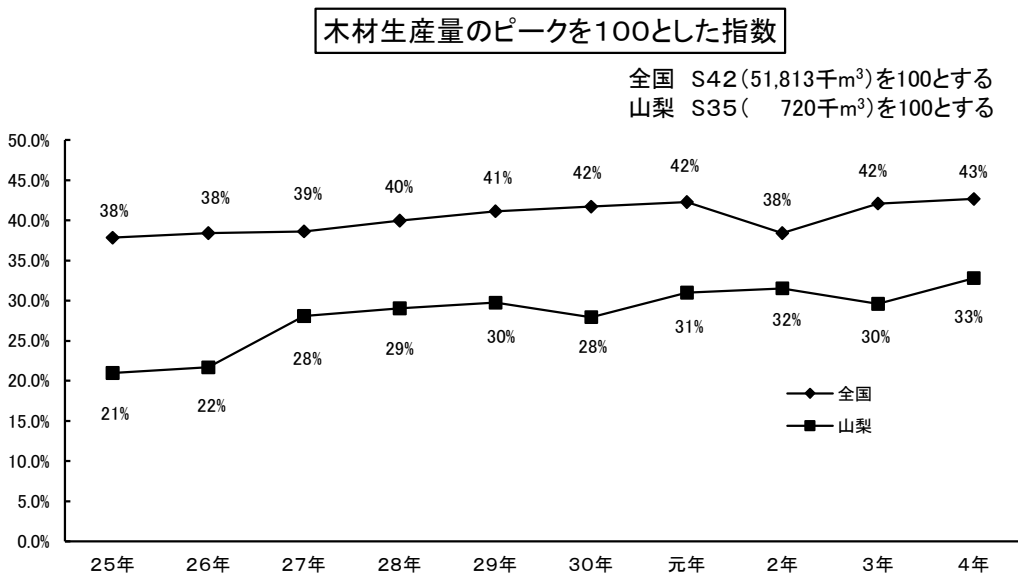


4 林業生産活動の動向

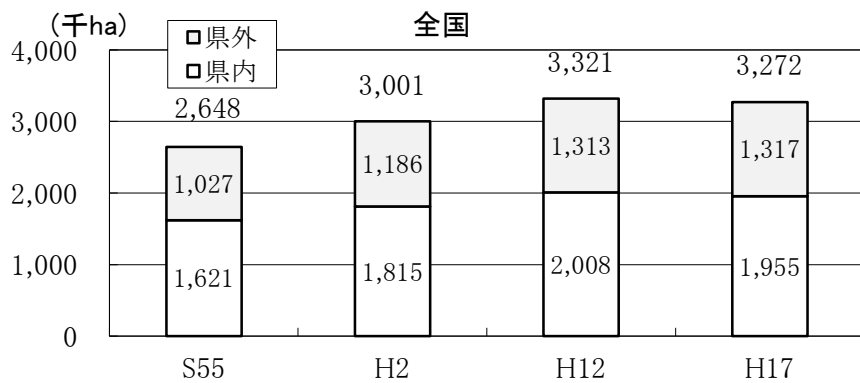
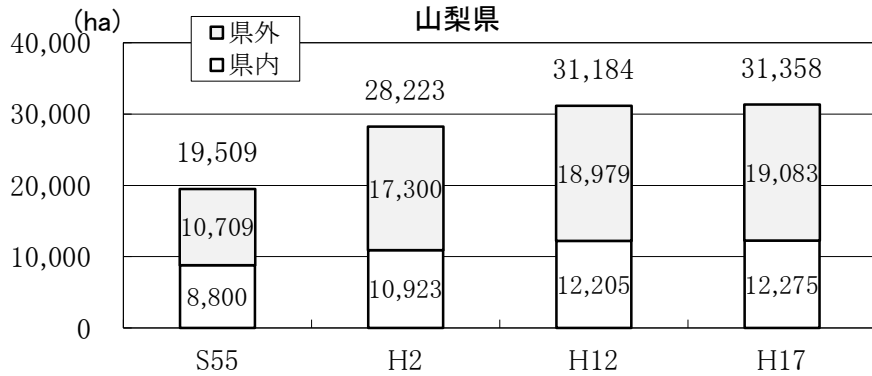
◇ 林業生産活動のうち長らく低迷していた木材生産量については、人工林資源の充実などにより持ち直してきており、大幅に増加した平成21年度以降、増加または横ばいとなっている。また、それに伴い造林面積も増加傾向となっている。



資料:「木材統計」農林水産省大臣官房統計部
「県製材工場等調査等」(平成27年度～)



不在村者森林所有面積の推移



資料：農林水産省「世界農林業センサス」（1980, 1990, 2000）「農林業センサス」（2005）
 ※2010（H22）年度調査から項目除外

（参考）

林家数の推移

| 全 国 | | | 山 梨 | |
|-------|----|-------|--------|---|
| 2,531 | 千戸 | 昭和55年 | 25,521 | 戸 |
| 2,509 | 千戸 | 平成2年 | 24,074 | 戸 |
| 1,019 | 千戸 | 平成12年 | 9,812 | 戸 |
| 920 | 千戸 | 平成17年 | 9,324 | 戸 |
| 907 | 千戸 | 平成22年 | 9,128 | 戸 |
| 829 | 千戸 | 平成27年 | 8,294 | 戸 |
| 690 | 千戸 | 令和2年 | 7,335 | 戸 |

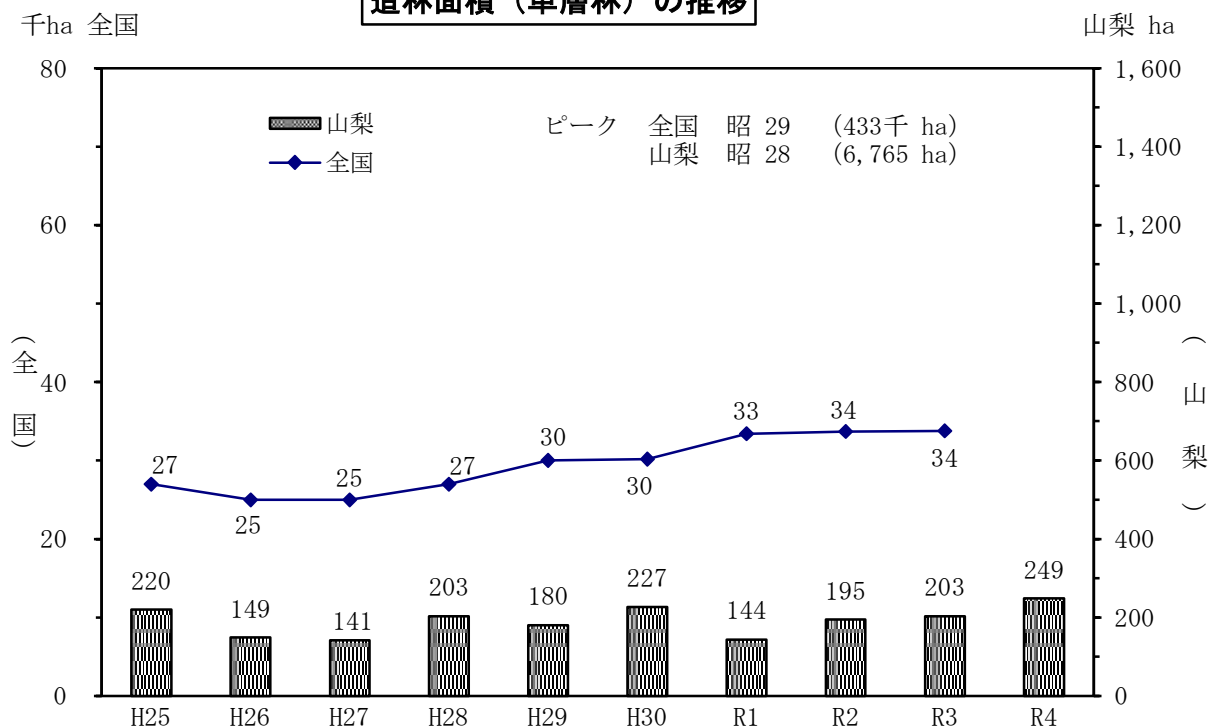
資料：農林水産省「世界農林業センサス」（1980, 1990, 2000）「農林業センサス」（2005, 2010, 2015, 2020）

林家

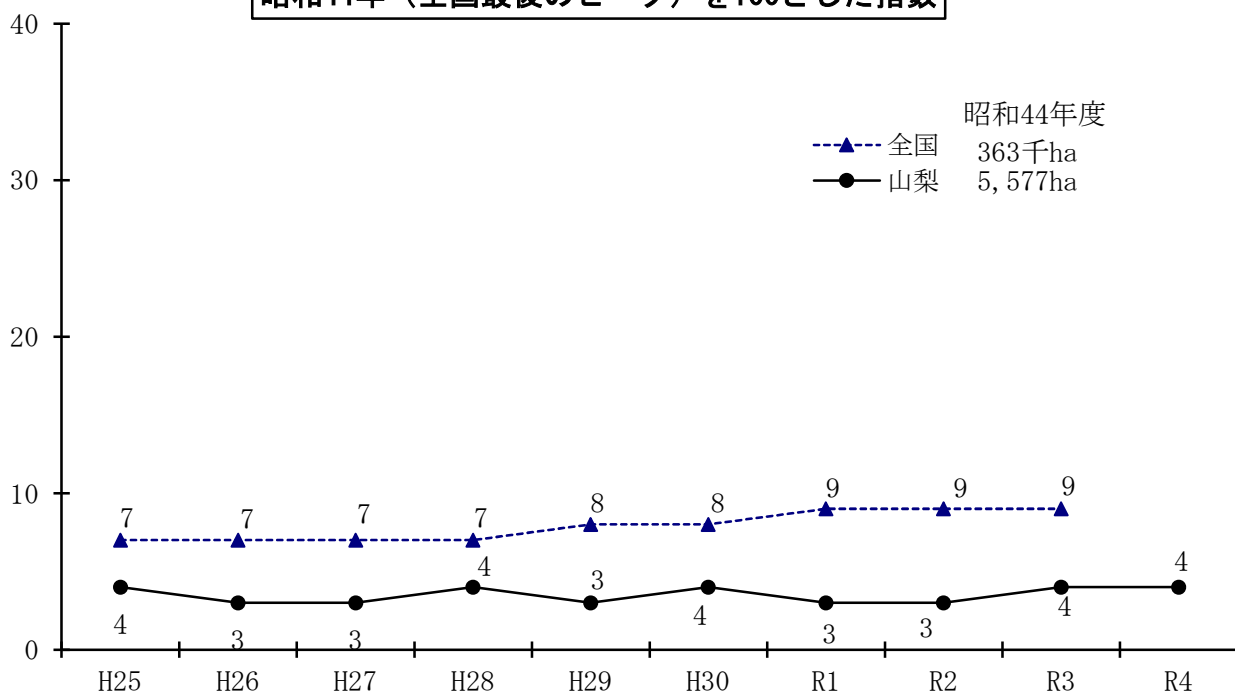
林家とは保有山林面積が一定規模以上の世帯

- ・（昭和55年, 平成2年）・・・保有山林面積が10a以上の世帯
- ・（平成12年, 平成17年, 平成22年, 平成27年, 令和2年）・・・保有山林面積が1ha以上の世帯

造林面積（単層林）の推移



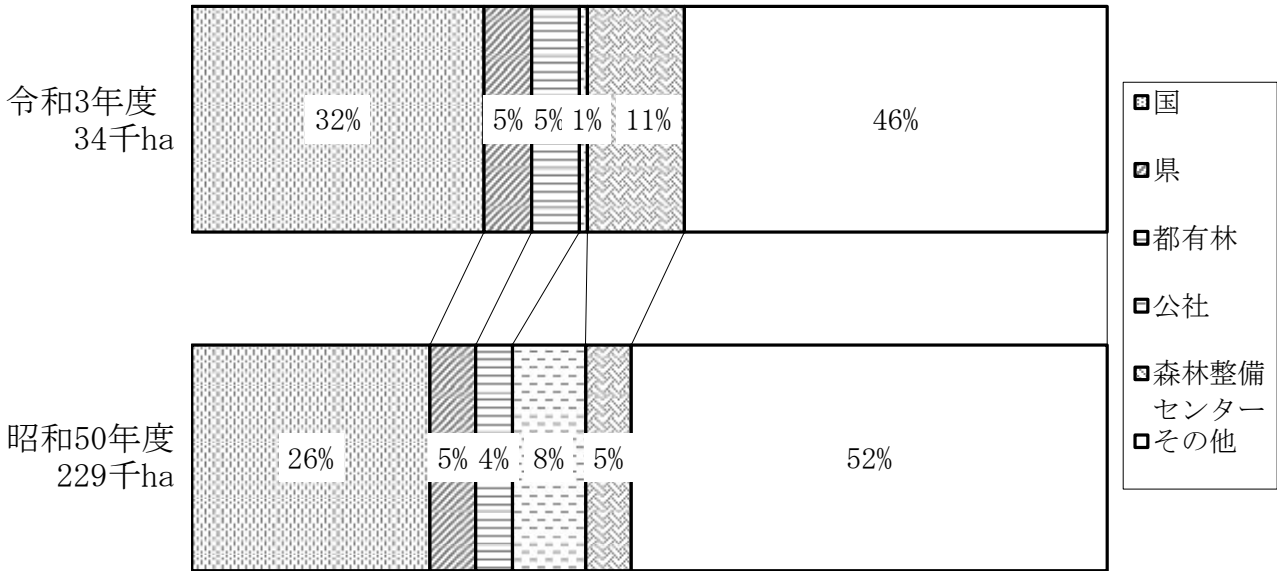
昭和44年（全国最後のピーク）を100とした指数



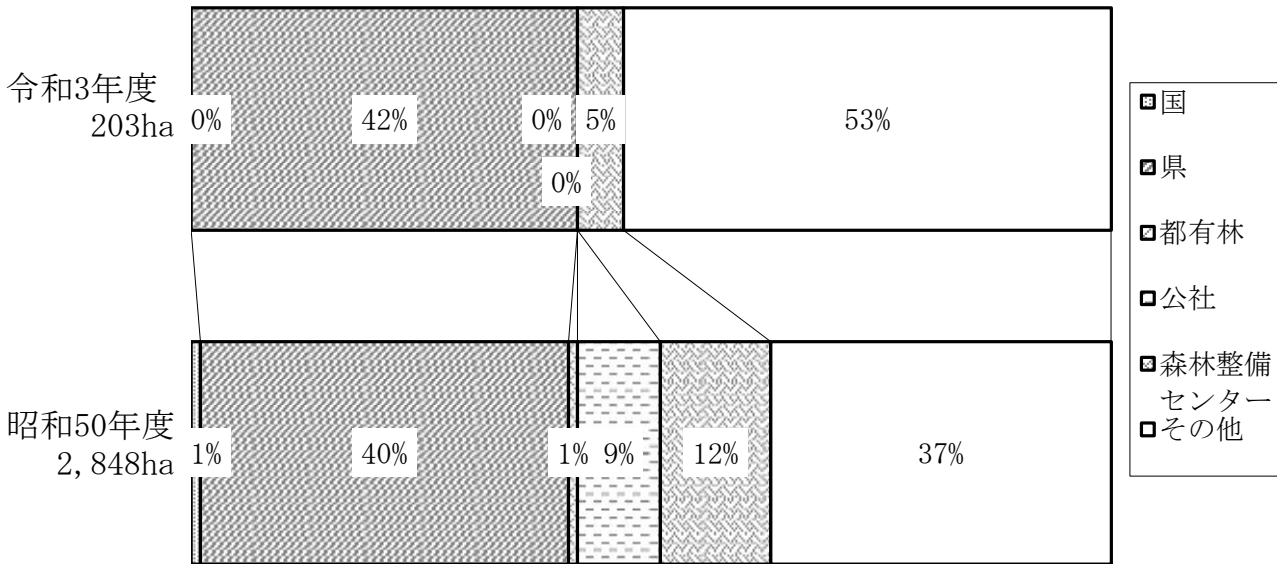
(注) 全国のデータは、令和4年3月31日現在（2023「森林・林業統計要覧」（林野庁編））

施行主体別造林比率

全 国



山梨県

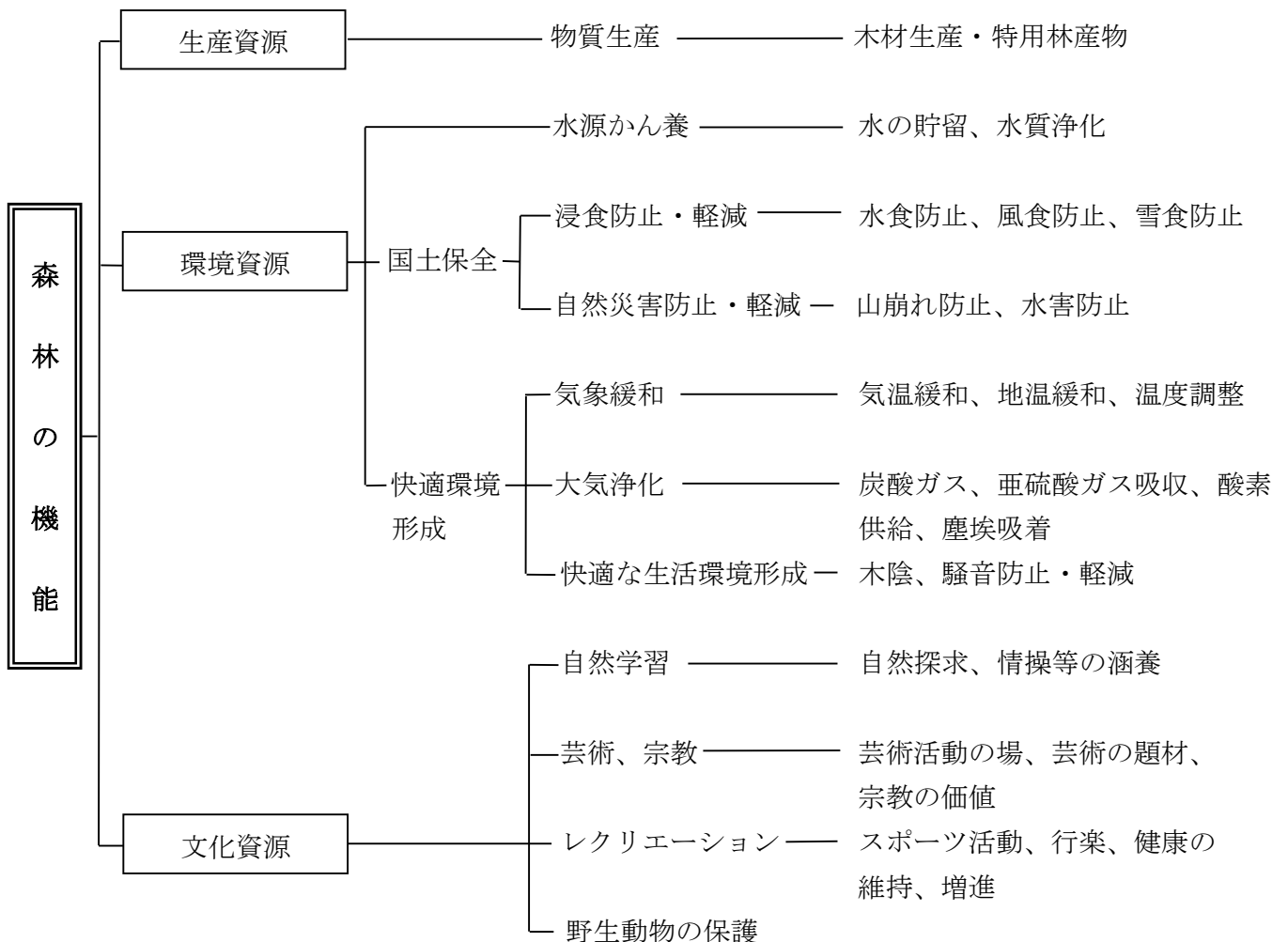


(注) 全国のデータは、2023「森林・林業統計要覧」(林野庁編)より

5 森林・林業の役割

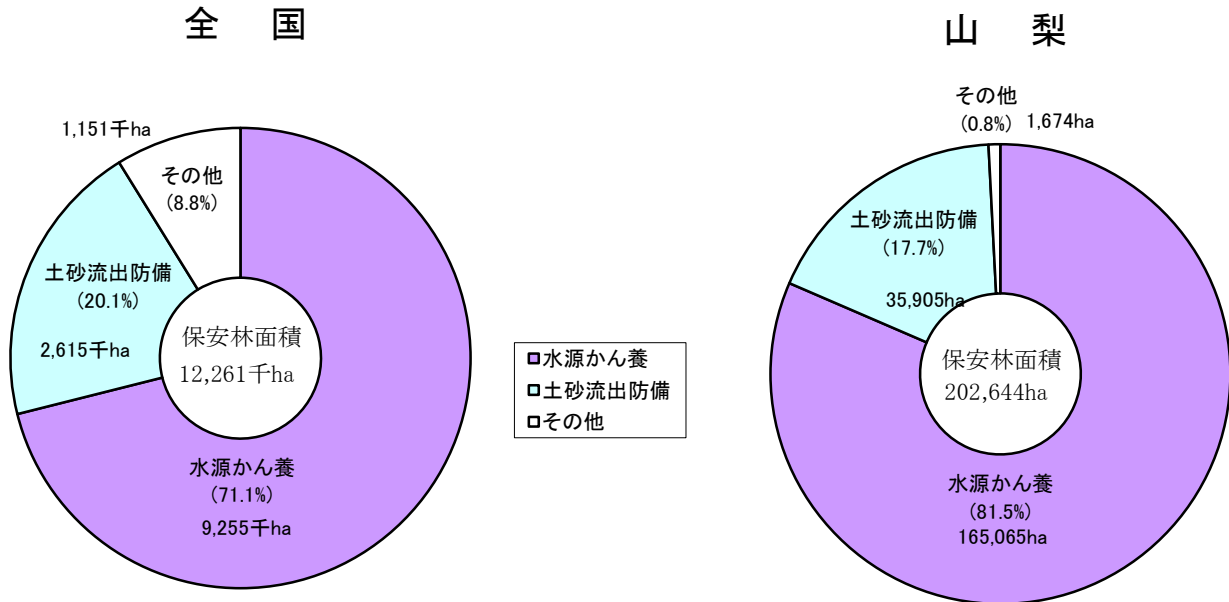
- ◇ 国土の7割を占める森林は、水源かん養、国土保全等の公益的機能、木材生産等国民生活に極めて大きな貢献をしており、本県の森林は、首都圏の水源地としての役割も担っている。
- ◇ 保安林は、国民の暮らしを守るために、特に重要な森林について、国や都道府県が指定した森林のことで、その目的に応じて17の種類に分けて指定されている。
- ◇ 山梨県では、このうち10種類の保安林が指定され、保安林面積は約20万ha（全森林の58%）である。四方を山々に囲まれ、古くから洪水等の災害が多かったため、保安林の指定率は、全国5位である。

森林の多面的機能



◇森林の公益的利用

保安林の種別構成割合



その他内訳

| 全国(単位:千ha) | 山梨(単位:ha) | 全国(単位:千ha) | 山梨(単位:ha) | 全国(単位:千ha) | 山梨(単位:ha) |
|------------|--------------|------------|-------------|------------|----------------|
| (0.5) 60 | 土崩 14 (0.0) | (1.0) 126 | 干害 56 (0.0) | (0.0) 0 | 防火 26 (0.0) |
| (0.1) 16 | 飛砂防備 - | (0.0) 0 | 防雪 - | (0.5) 60 | 魚つき - |
| (0.4) 56 | 防風 158 (0.1) | (0.5) 62 | 防霧 - | (0.0) 1 | 航行 - |
| (0.0) 1 | 水害 110 (0.1) | (0.1) 19 | なだれ - | (5.4) 704 | 保健 1,071 (0.5) |
| (0.1) 14 | 潮害 - | (0.0) 3 | 落石 3 (0.0) | (0.2) 28 | 風致 237 (0.1) |

(注) 全国は令和4年3月31日現在(資料:2023「森林・林業統計要覧」(林野庁編))、
 県は令和5年3月31日現在の数値である。
 全国の内訳面積は延べ面積のため、合計面積とは一致しない。
 県の内訳面積は端数処理の関係上、合計面積と一致しないことがある。
 その他内訳の左側全国(単位:千ha)、右側山梨(単位:ha)

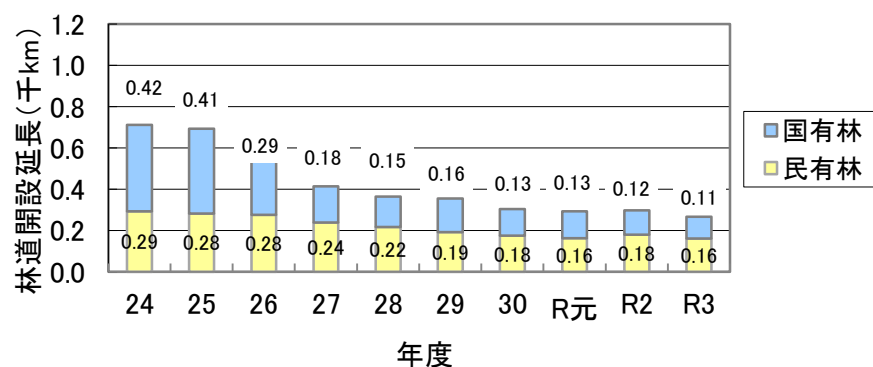
◇林道整備の目標と現況

林道整備目標と現況

| 全 国 | | 山 梨 |
|-----------|----------------------------------|----------|
| 240.0 千km | 基本計画目標 [全国 令和7年度 山梨 令和11年度] | 2,236 km |
| 140.0 千km | 現況延長 [全国 令和2年度末 山梨 令和4年度末] | 2,144 km |
| 5.6 m | 現在林道密度 (ha当たり) | 6.0 m |

資料: 全国は、2023「森林・林業統計要覧」(林野庁編)
山梨県延長には、国有林内延長を含まない。

林道開設状況の推移(全国)



資料: 「令和4年度版森林・林業白書」参考付表(林野庁編)

林道開設状況の推移(山梨県)

